

会議記録

●会議名 令和7年度 第1回丹波市社会教育委員の会議

●日時 令和7年5月23日（金）13：30～15：30

●場所 丹波市役所本庁第2庁舎 ホール

●出席者 別添「出欠票」のとおり

●内容

1 開会（社会教育・文化財課長）

2 あいさつ（議長）

3 職員紹介

4 役員選出

（1）丹波市立図書館協議会委員並びに丹波市図書館基本計画策定委員
⇒橋本千英委員を選出

（2）丹波アートコンペティション実行委員会委員
⇒梅垣真紀委員を選出

5 報告事項

（1）令和7年度社会教育事業計画について
・担当課長から説明（P6～P12）

【質問・意見】

委員	全国高等学校女子硬式野球選手権大会について、60を超える学校が参加しており、全国的に知名度があります。しかし、観客は学校関係者が多い状況にあります。これまでもPRされてこられたと思いますが、市民向けの新しいPRの仕方は考えていますか。
----	---

文化・スポーツ 課長	全国高等学校女子硬式野球選手権大会については、参加数も前年度を上回る予定と聞いています。大会の盛り上がりをもっと市民へ周知するために各種PR媒体を用いて一層の広報に力を入れていきます。
---------------	--

委員	健康に関する問題について、男子高校野球は朝と夕方
----	--------------------------

	に試合をするなど選手に対する配慮をされていますが、何かそういったことを女子高校野球連盟からお聞きされていますか。
文化・スポーツ課長	今後、内容について、連盟と調整をしていきます。昨年度の給水タイムのような配慮について連盟と協力しながら取り組んでいきます。
委員	部活動の地域移行という言葉が地域展開に変更になった背景を教えてください。
学校教育課長	国が地域展開という名称を使用していますので、国に合わせて丹波市でも地域展開という名称を使用しています。 また、名称変更の背景ですが、学校の部活動を地域に渡すのではなく、地域と一緒に進めていくという意味合いから地域展開という名称に変更したと聞いています。
委員	地域、家庭、関係機関と連携すると記載がありますが、現時点で連携されている関係機関を教えてください。
学校教育課長	既に剣道の団体が地域のクラブとしてスタートしている例があります。丹波市内にあるスポーツ団体や文化団体と協議をしていかなければならないと考えています。
委員	令和8年度から展開されとのことですが、スケジュールや最終到達点を教えてください。
学校教育課長	国は、令和13年度には地域展開が完了するスケジュールを示しています。近隣市では養父市が、令和10年度から地域で展開していくことを発表しています。都市部や中山間部で進め方が異なりますが、丹波市においても周りの市町村に後れを取らないように進めていきます。直近では、令和8年度から休日の部活動について、地域展開できるように調整を進めていきたいと考えています。
委員	部活動の地域展開について、教育委員会内の担当者等の体制を教えてください。
学校教育課長	教育委員会内の担当は、学校教育課の副課長が担っています。担当は置いていますが、大きな課題ですので教育委員会全体及び関係部署と連携して進めていきます。

委員	地域展開の期日について、令和8年度と聞いていましたが、令和13年度に延長したということですか。
教育部長	兵庫県の方針として、令和8年度から休日の部活動について地域展開していくということは昨年から変更していません。平日の部活動に関しては、現段階ではハードルが高い状況にありますので、少し先になります。
委員	休日の部活動については、令和8年度から地域展開していく予定とのことですが、現在、関係機関や市長部局との調整もまだ進んでいない状況であることがわかりました。 スポーツ協会もスケジュール等がわからなければ前に進むことができずに止まっている状況です。関係機関と調整し、検討していただきたいと思います。
委員	第3次丹波市教育振興基本計画では、学校教育、社会教育、家庭教育について、連携しながら教育に全員が関わっていくことをコンセプトにしているものと認識しています。学校教育の中でも社会教育委員が知っておくべき事業については、情報提供いただきたいと思います。 社会教育に関わる人材の育成について、今回の計画にも社会教育士と記載があります。しかし、実施計画では社会教育士の記載が漏れていることが気になります。記載はありませんが、今年度の社会教育士の活躍機会の拡充については何か取り組みを考えていますか。
社会教育・文化財課副課長	社会教育士の活躍も視野には入っていますが、令和7年度は地域学校協働活動推進員の活躍について、重点的に進めていくこととしています。
委員	現状、丹波市には6名社会教育士がいます。今年度も2名受講を希望されています。市民側でも年々増加している状況ですので、社会教育士として社会教育行政に協力していきたいと思っています。
社会教育・文化財課副課長	学校教育分野につきまして、令和6年度の実績を報告するにあたり、どのような形で報告するかについて事務局内で協議いたします。
委員	家庭の教育力向上のための取組の充実の中の単位PTAリーダー育成支援について、現状、PTAの活動を継続することに精一杯で、新しいことをする余力がありません。

	せん。具体的にどのようなことを実施されますか。
社会教育・文化 財課副課長	丹波市PTA連合会が主体になり、各単位PTA役員を対象にした研修を実施するものです。年度初めに開催し、受講した役員が各単位PTAに持ち帰り、以降の研修会などの参考にしていただくことを想定しています。各単位PTAに新たに事業を求めるものではありません。
議長	自治公民館活動補助金の交付について、自治会の加入率との関係を教えてください。
市民活動課長	正確な加入率はわかりかねますが、7割程度の加入率だと思っています。コミュニティを形成する事業が必須で、人権について考える事業の2つを実施することで補助金を交付するという仕組みになっていることから、加入率と補助金の関係を見出すことは難しいです。
議長	地域づくりの学びの場づくりとして、自治会の加入率が減少することによって、対象にならない住民が増加することにつながるため、学びの場づくりが大事だという観点から自治会の加入率増加は重要です。

・担当課長から説明（P13～P15）

【質問・意見】

委員	親しみを感じる図書館づくりについて、図書館サポーターは、時間の制約がありますので図書館に関心がある層を掴みきれていないと感じています。図書館に関して市民協働の視点において今後進めていく取り組みを教えてください。
社会教育・文化 財課長	昨年度図書館ビジョンを策定いたしました。また、今年度は、第4次丹波市子ども読書活動推進計画を含む、図書館基本計画を策定します。この計画は、市民の意見を反映させた計画とし、図書館サポーターとの連携については引き続き進めていきます。
委員	学校図書館との連携が重要だと考えています。学校から公共図書館に依頼する内容がわからないなど、学校側に情報が届いていないと感じる部分があります。学校へのアプローチが難しい中で、今年度取り組むことを教え

	てください。
社会教育・文化財課長	電子コンテンツの充実について、学校において読書活動をされている中で、昨年度であれば中学年、高学年向けしかなかった電子図書を低学年向けのものも導入し、幅広い学年の利用が可能となりました。今年度は、こどもが描く学校図書館づくり支援事業を学校教育課において計画しています。希望される学校については、公共図書館から図書整理や分類の支援のための派遣を行う予定です。
委員	学校図書館との連携も考えていただいていると思いますが、人員等の体制により難しい部分もありますので、引き続き検討いただきたいと思います。
委員	今回説明いただいた範囲ではない箇所、17 ページにも学校図書館の記載があります。 学校図書館の運営にあたっては、専門の人材を置くことが大切だと考えています。学校司書について今年度の取り組みまたは今後の検討を教えてください。
学校教育課長	今年度は、こどもたちが学校図書館に行きたいと思える場づくりを進めていきます。現在の学校図書館は暗いことや蔵書の古さからこどもたちが集う場になりにくい状況です。今後5年間で確実に学校図書館を学習環境の場として整備することを見据えて、今回の教育振興基本計画に記載していますので、教育委員会も前向きな姿勢であると捉えていただきたいと思います。 専門的な人材については、学校図書館サポーターにお世話になっています。整備を進め、その後、人材をどのように展開していくかについては、委員等の意見を基に考えていきます。

6 協議事業

(1) 令和7年度社会教育関係団体補助金について

- ・担当課から説明（丹波市子ども会育成協議会、丹波市PTA連合会）

【質問・意見】

議長	各団体に課題があると思いますが、それぞれの課題を教えてください。
市民活動課長	丹波市子ども会育成協議会については、自治会の中でのこどもの人数が減少してきており、子ども会自体が減少していることから丹波市子ども会育成協議会の役員のなり手がなく、固定化しているのが現状です。持続的に子ども会の活動をしていくための取りまとめに課題を感じています。
社会教育・文化財課副課長	丹波市PTA連合会については、各単位PTAは各小学校または中学校単位で組織されており、状況に応じた活動を展開されていますが、情報共有や課題共有、今後の取り組みの意見交換などの単位PTAどうしのつながりを深めていく必要があると考えています。また、各機関からの役員選出の依頼が数多く届きます。直接保護者として関わらなければならない役員選出については、出席いただいておりますが、PTAからの選出でなければならないと言い切れない会議については、役員選出依頼の見直しを求めているかなければならないといった課題があります。

⇒ 2 団体とも提案のとおり承認

7 テーマ研究について

・「人権教育 ～住民人権学習の展開～」

【質問・意見】

委員	自治公民館活動の補助金のために住民人権学習を開催しているところがあります。各家庭1人（男性）が参加され、夫婦で参加される家庭は1～2件です。 現状を調べ、来年に提言をするような取り組みをしっかりできるのであれば、人権教育も良いと思います。
委員	現状、ビデオを見る方法をとられることが多く、実施する側は実施しやすい一方、これをおこなえば良いといった感覚になりやすいと思います。 地域ごとのテーマ設定なども必要かと思うようなところもあります。どういった学習会ができるか、どのようにすれば参加しやすくなるのかといった研究をできたらいいと思います。

委員	私たち社会教育委員がどのような形で関わっていくのか、どのような研究をしていくのか現状ではイメージが難しいです。
委員	自分の住んでいる地域では、住民人権学習の参加率が高いです。自身としても人権について勉強したいと思う気持ちがあります。住民人権学習は良いテーマだと思います。
議長	どのようなことを実施しているのか、各自治会の話など、現在どのように進んでいるのかということを知る必要があると思っています。 このテーマとするなら2回目の会議で住民人権学習の現状、ねらいについて知る時間にしたいと思います。その後、教材や推進体制についての意見を述べていただきたいと考えています。現在の住民人権学習会を変えようといったことではなく、知るところから始めたいと思います。 今年度のテーマは、住民人権学習とさせていただきます。

8 その他

(1) 全国・近畿・県等関連行事

⇒次第参照

(2) 各課からの連絡事項

⇒第3次教育振興基本計画、丹波市図書館ビジョン、第2次丹波市スポーツ推進計画、関係課各種チラシを机上配布

(3) その他

⇒令和7年8月22日（金） 午前中に開催

9 閉会（副議長）

令和7年度 第1回丹波市社会教育委員の会議

出 欠 票

N0	氏 名	住 所	
1	梅 垣 真 紀	柏原地域	欠
2	竹 安 今日子	柏原地域	出
3	竹 岡 郁 子	山南地域	出
4	森 奥 和 代	山南地域	出
5	梅 谷 浩 子	氷上地域	出
6	荒 木 伸 雄	氷上地域	出
7	松 本 佳 則	氷上地域	欠
8	蔦 木 伸一郎	氷上地域	出
9	橋 本 千 英	青垣地域	出
10	橋 本 崇 史	青垣地域	出
11	木 寺 郁 代	市島地域	出
12	高 橋 典 子	市島地域	出
13	足 立 まゆみ	春日地域	欠
14	細 見 勝	春日地域	出
15	山 内 順 子	春日地域	欠